

プレスリリース



報道関係各社 各位

2016年5月2日

「玉川大学で主権者教育」学生対象のシンポジウム開催 5月10日（火）「18歳選挙権と参院選」 ～各党若手国会議員を招き、学生たちが政治との関わりを深める～

玉川大学（東京都町田市／学長：小原芳明）は、5月10日（火）、玉川大学生と玉川学園9-12年生を対象に、日本の主要政党である自民党、民進党、公明党、共産党の若手衆参両院議員を招き、『18歳選挙権と参院選』をテーマにシンポジウムを開催します。

玉川大学では、学士力に「市民としての社会的責任」を身に付けることを定め、これまでも初年次教育の中で主権者意識向上の取り組みを行ってきました。

今夏、参院議員選挙を控え18歳・19歳を含めた全学の学生を対象に、政治との関わりと正しい理解を深める機会を設けます。取材方、よろしく願いいたします。

玉川大学 各党若手国会議員によるシンポジウム — 18歳選挙権と参院選 —

【日時】 5月10日（火）17:00～18:30

【会場】 玉川大学 大学教育棟 2014 521教室

取材される方は事前にご連絡をお願いいたします。

【対象】 玉川大学1-4年生、玉川学園9-12年生（中3～高3）希望者約300名

パネラー：自民党 福田 達夫 氏
民進党 木内 孝胤 氏
公明党 遠山 清彦 氏
共産党 辰巳 孝太郎 氏
コーディネーター：篠原 文也 氏
（政治解説者・中央教育審議会委員）

【主な内容（予定）】

- ・各党の参院選に向けてのアピール
- ・各党の政策を18歳・19歳を含めた若者にどうアプローチするか
- ・投票に行く際に留意していくべき点を各党はどのように考えているか
- ・今後、主権者教育をどのように進めていくべきか、 など

衆参両院議員によるシンポジウム
—18歳選挙権と参院選—

平成27年6月に公職選挙法が改正され、選挙権を有する者の年齢が満18歳に引き下げられることになりました。今夏の参院選より適用されることとなります。これにより、若い人たちの声が政治に反映されることとなりますが、一方、政治に対する正しい理解も求められることとなります。

そこで、この度、日本の4大政党 自由民主党、公明党、民進党、共産党の若手衆参両院議員を招き、シンポジウムを開催することになりました。

是非、実際に政治に関わっている議員のお話を伺い、自身がどのように政治と関わっていくべきなのかを考えてみましょう。皆さんの積極的な参加を期待しています。

本学の学生なら誰でも参加できます

開催日時：5月10日（火）17:00～18:30
会場：大学教育棟 2014 521教室

事前申込制 参加希望者は申込用紙に記入のうえ、ラーニング・commons 4F インフォメーションデスクに提出してください。 申込締切 4月29日

<本リリースに関するお問合せ・取材に関するお問い合わせ>

玉川学園教育企画部広報課 〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

電話 042-739-8710 E-mail: pr@tamagawa.ac.jp

今回のシンポジウムは、フルオープンで行います。
取材される方は玉川学園広報課まで、事前にご連絡をお願いいたします。